

## 課題

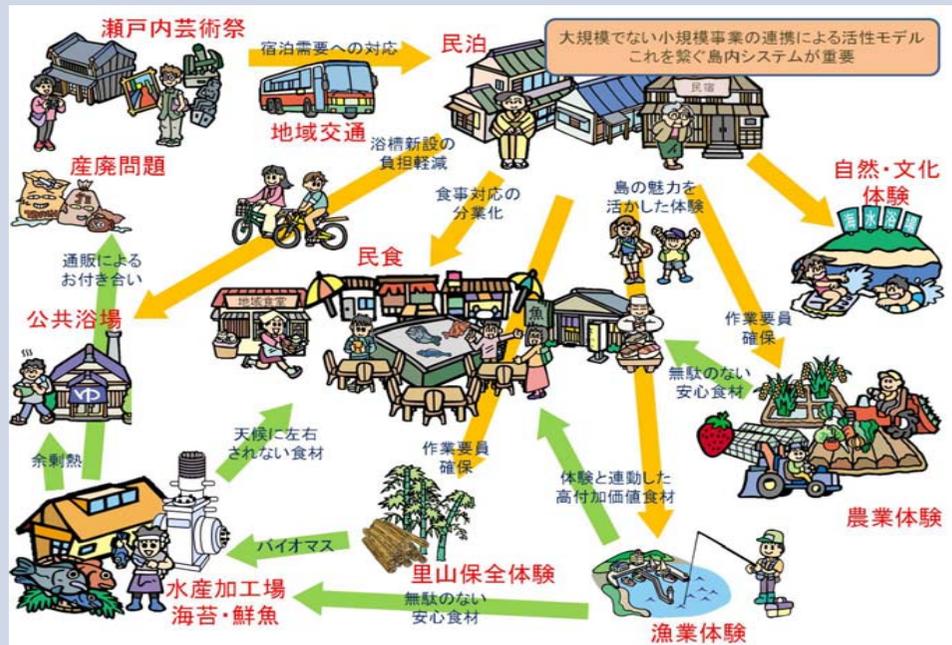
- 1) 効果的な情報発信と販売流通、交流人口ネットワークの構築
- 2) 地域エネルギー資源活用可能性の調査
- 3) 島活性化を目的としたまちづくり調査、食ブランド検討、自然活用体験学習の提案とりまとめ

## 実現を目指していく地域のイメージ

体験プログラムや通販に参加する枠組みを作ることによって島外市民を取り入れた交流人口ネットワークを構築する。限られた人的・物的リソースの中、情報システムを活用し、心と食で絆を紡ぎ、都市と離島で支え合う仕組みにより自給力・創富力を高める。

## 調査事業の概要

- 1) 豊島ウェブサイトの問題点の分析・改善、SNS、ツイッターなどの実装、通販システムの構築と試行... 豊島を応援する島外市民らの活用を拡大
- 2) 島のエネルギー需要の調査、島の賦存バイオマスや機器のニーズを考慮した、スターリングエンジンや食材冷凍装置活用の検討
- 3) 先進事例視察.....主体形成の促進、民宿運営や食材供給における具体的な問題の抽出、目標・課題の共有  
豊島活性化公募.....産品試作と島外視点を取り入れた観光資源の抽出



小規模な取組みを相互に連携しながら、地域の身の丈にあった事業規模を確保

## 対応策の提示

<これまでのノウハウ、対応策>

- 1) かつての産廃問題に起因する豊富な人脈ネットワーク、瀬戸内国際芸術祭による新たな観光客の見込み
- 2) 環境保全イベントによる取り組み、海的生活文化体験、棚田再生協力、遺跡発掘体験
- 3) 産廃問題による風評被害を乗り越えてきた経緯、さまざまな人間の英知に対する「学びの島」としてのブランド構築

<調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

- 1) 双方向性の情報発信による島外若者との繋がりの強化、(農業・環境保全に必要な)将来的な担い手誘引
- 2) 既存施設や導入する機器(公共施設、ビニールハウス、水産物加工工場など)同士を連携させ、事業拡大に伴う環境負荷の増大を最小限に抑えるエネルギー・マネジメント
- 3) 先進事例との比較や島外市民らの意見募集による島の魅力の再確認と問題抽出、小規模な事業参画をサポートするしくみ(補助や共有化)の必要性認識

<今回の調査により得られた新たな課題>

- 1) 泊・食・遊の観光予約システムの整備、通販システムの発展と資材共有の仕組みの検討・試行
- 2) 大型施設・機器の導入(泊・食・遊との連携)
- 3) 民宿は泊と食を分離して負担軽減、繁忙期/閑散期対応、食材流通量の出入口の変動緩衝(保存・加工・販路開拓)など具体的方策の実行